

# 令和6年度 社会 <1年> シラバス (年間学習計画)

## 1 学習の目標 (平成29年告示 学習指導要領より抜粋)

- 我が国の国土と歴史，現代の政治，経済，国際関係等に関して理解するとともに，調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べ，まとめる技能を身に付けるようにする。
- 社会的事象の意味や意義，特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり，社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力，思考・判断したことを説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。
- 社会的事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情，国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

## 2 学習の内容 (予定)

学期	単元名	項目名	各項目の主な到達目標
			①:知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度
1	世界の姿 (地)	1 私たちの住む地球を眺めて 2 いろいろな国の国名と位置 3 緯度と経度 4 地球儀と世界地図の違い	①緯度と経度，大陸と海洋の分布，主な国々の名称と位置などを基に，世界の地域構成を大観し理解することができる。
	日本の姿 (地)	1 世界の中での日本の位置 2 時差でとらえる日本の位置 3 日本の領域とその特色 4 都道府県と県庁所在地	②日本の地域構成の特色を，周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し，表現することができる。
	人々の生活と環境 (地)	1 世界のさまざまな生活と環境 2 暑い地域の暮らし 3 乾燥した地域の暮らし 4 温暖な地域の暮らし 5 寒い地域の暮らし 6 高地の暮らし 7 世界各地の衣食住とその変化 8 人々の生活と宗教の関わり	①世界各地における人々の生活やその変容を基に，世界の人々の生活や環境の多様性を理解することができる。 ③世界各地の人々の生活と環境について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究することができる。
	歴史の流れと時代区分 (歴)	1 年代の表し方と時代区分	①年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解できる。
	人類の登場から文明の発生へ (歴)	1 人類がたどった進化 2 世界各地で生まれる文明 3 東アジアの文明の広がり 4 ギリシャとローマの政治と文明 5 仏教・キリスト教・イスラム教の誕生	②古代文明や宗教が起こった場所や環境に着目して，文明や宗教の特徴を比較して考察し，共通点に気づき，事象を相互に関連付けて，古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現することができる。
	東アジアの中の倭 (日本) (歴)	1 縄文から弥生への変化 2 ムラがまとまりクニへ 3 鉄から見えるヤマト王権	②農耕の広まりや生産技術の発展に着目して，農耕の広まりが生活や社会に与えた影響を考察するなど，事象を相互に関連付けて，古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現することができる。
	中国にならった国家づくり (歴)	1 ヤマト王権と仏教伝来 2 律令国家を目指して 3 律令国家での暮らし 4 大陸の影響を受けた天平文化	①律令国家の確立に至るまでの過程をもとに，東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家のしくみが整えられ，その後，天皇や貴族による政治が展開したことを理解することができる。
	展開する天皇・貴族の政治 (歴)	1 権力を握った貴族たち 2 唐風から日本風へ変わる文化	③古代の文化と東アジアとの関わりについて，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究することができる。
2	アジア州 (地)	1 アジア州の自然環境 2 アジア州の農業・文化と経済発展 3 経済発展を急速に遂げた中国	①アジア州をいくつかの地域に分けて人口増加と急激な経済発展によるさまざまな影響を整理し，地域ごとの違いをふまえながらアジア州全体の地域的特色や課題を理解することができる。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>4 最も近い隣国, 韓国</li> <li>5 経済発展を目指す東南アジア</li> <li>6 産業の発展と人口増加が急速に進む南アジア</li> <li>7 資源が豊富な中央アジア・西アジア</li> </ul>	
ヨーロッパ州 (地)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 ヨーロッパ州の自然環境</li> <li>2 ヨーロッパ文化の共通性と多様性</li> <li>3 EUの成り立ちとその影響</li> <li>4 ヨーロッパの農業とEUの影響</li> <li>5 ヨーロッパの工業とEUの影響</li> <li>6 EUが抱える課題</li> </ul>	②他地域との結びつきや地域などに関わる視点に着目して、EU 統合や文化の多様性に関わる課題の要因や影響をヨーロッパ州の地域的特色と関連付けて、多面的・多角的に考察し、表現することができる。
アフリカ州 (地)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 アフリカ州の自然環境</li> <li>2 アフリカの歴史と文化</li> <li>3 特定の輸出品に頼るアフリカの経済</li> <li>4 アフリカが抱える課題とその取り組み</li> </ul>	①アフリカ州の人々の生活や産業の特色を歴史的背景をふまえて理解することができる。 ③モノカルチャー経済やヨーロッパとの関係に着目しながら、アフリカ州の地域的特色に関心を高め、課題の解決を主体的に追究することができる。
北アメリカ州 (地)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 北アメリカ州の自然環境</li> <li>2 移民の歴史と多様な民族構成</li> <li>3 大規模な農業と多様な農産物</li> <li>4 世界をリードする工業</li> <li>5 アメリカ合衆国にみる生産と消費の問題</li> </ul>	①多様な民族が暮らすアメリカ合衆国において、広大な国土を利用して大規模な農業が行われていることや世界をリードし続けている工業の姿について理解することができる。
南アメリカ州 (地)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 南アメリカ州の自然環境</li> <li>2 多様な民族・文化と人々の生活</li> <li>3 大規模化する農業と成長する工業</li> <li>4 ブラジルにみる開発と環境保全</li> </ul>	③多民族の共存や近年の経済成長に着目しながら、南アメリカ州の地域的特色と農地や鉱山の開発の地域に対する影響を主体的に追究することができる。
オセアニア州 (地)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 オセアニア州の自然環境</li> <li>2 移民の歴史と多文化社会への歩み</li> <li>3 他地域と結びついて発展する産業</li> </ul>	②オセアニア州の国々が、旧宗主国であるヨーロッパの国と密接な関係を保ちながら、近年アジアとのつながりを深めている理由や課題を多面的・多角的に考察することができる。
武士の世の始まり (歴)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 各地で生まれる武士団</li> <li>2 朝廷と結びつく武士</li> <li>3 鎌倉を中心とした武家政権</li> <li>4 武士や僧侶たちが広めた鎌倉文化</li> </ul>	①鎌倉幕府の成立などをもとに、武士が台頭して、主従の結びつきや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まったことを理解することができる。
武家政権の内と外 (歴)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 海を越えて迫る元軍</li> <li>2 南北朝の内乱と新たな幕府</li> <li>3 東アジアの交易と倭寇</li> <li>4 琉球とアイヌの人々がつなぐ交易</li> </ul>	②東アジアの交流に着目して、東アジアの動きが国内の政治や社会に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現することができる。
人々の結びつきが強まる社会 (歴)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 技術の発達とさまざまな職業</li> <li>2 団結して自立する民衆</li> <li>3 全国に広がる下剋上</li> <li>4 庶民に広がる室町文化</li> </ul>	①農業など諸産業の発達、都市や農村における自治的なしくみの成立、多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的な変動などをもとに、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解することができる。
大航海によって結びつく世界 (歴)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 ヨーロッパの変革</li> <li>2 大航海時代の幕開け</li> <li>3 東アジアの貿易と南蛮人</li> </ul>	③世界の動きについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究することができる。
戦乱から全国統一へ (歴)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 信長・秀吉による全国統一</li> <li>2 秀吉が導いた近世社会</li> <li>3 戦国大名と豪商が担った桃山文化</li> </ul>	②統一政権の諸政策の目的に着目して、中世社会から近世社会への変化が生み出され、日本の政治や文化に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現することができる。

# 令和6年度 社会 <2年> シラバス（年間学習計画）

## 1 学習の目標（平成29年告示 学習指導要領より抜粋）

- 我が国の国土と歴史，現代の政治，経済，国際関係等に関して理解するとともに，調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べ，まとめる技能を身に付けるようにする。
- 社会的事象の意味や意義，特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり，社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力，思考・判断したことを説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。
- 社会的事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情，国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

## 2 学習の内容

学期	単元名	項目名	各項目の主な到達目標 ①：知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度
1	第3部 日本のさまざまな地域	第1章 身近な地域の調査 第2章 日本の地域的特色	①日本の自然災害の特色を理解し，地形や気候など自然環境との関連を考えることができる。 ②日本の地域的特色をとらえ，資源や産業とのかかわりを理解し，説明することができる。 ③身近な地域や日本の国土に関心を持ち，課題を見つけることができる。 【 地理 】
		第3章 日本の諸地域 1 九州地方 2 中国・四国地方 3 近畿地方	①それぞれの地域の特色を多面的・多角的に理解している。 ②それぞれの地域の特色を資料をもとに説明することができる。 ③それぞれの地域を自然環境・交通や通信・環境保全などの視点から，現在の課題や問題点を見つけ，改善策を考えることができる。 【 地理 】
2	第2部 歴史の大きな流れと時代の移り変わり	第3章 武家政治の展開と世界の動き 3 武士による支配の完成 4 天下泰平の世の中 5 社会の変化と幕府の対策	①江戸幕府の全国支配のしくみや外交，身分制や産業の発達の様子，江戸時代前半を理解し，説明することができる。 ②江戸幕府は農民の要求や社会の変化に応じてどのような改革をしたかを理解し，その過程をまとめることができる。 ③幕府の財政再建や権威回復のためにどのような改革をしたのかを考え，現代の政治と比較して考察することができる。 【 歴史 】
		第4章 近代国家の歩みと国際社会 1 欧米諸国における「近代化」 2 開国と幕府の終わり 3 明治政府による「近代化」の始まり 4 近代国家への歩み	①近代化の進展による欧米諸国の政治や社会の変化，明治新政府の政策を理解し，その知識を身に付けている。 ②日本の産業や社会の変化を多角的に考察し，説明することができる。 ③「近代国家」日本が世界でどのような動きをしていたのかを主体的に追究している。 【 歴史 】

<p>第3部 日本のさまざまな地域</p>	<p>第3章 日本の諸地域 4 中部地方 5 関東地方 6 東北地方 7 北海道地方</p>	<p>①それぞれの地域の特色を多面的・多角的に理解している。 ②それぞれの地域の特色を、資料をもとに説明することができる。 ③それぞれの地域の産業・人口や都市・村落、生活・文化・自然環境などの視点から、現在の課題や問題点を見つけ、改善策を考えることができる。</p> <p style="text-align: right;">【 地理 】</p>
<p>第4部 地域の在り方</p>	<p>第1章 地域の在り方</p>	<p>③地域をよりよくするために、どのようなことに取り組んだらよいかを考えることができる。</p> <p style="text-align: right;">【 地理 】</p>
<p>第2部 歴史の大きな流れと時代の移り変わり</p>	<p>第4章 近代国家の歩みと国際社会 5 帝国主義と日本 6 アジアの強国の光と影</p>	<p>①「近代国家」日本が世界でどのような動きをしていたのかを理解している。 ②日本の産業や社会の変化を理解し説明することができる。 ③「近代化」が現代社会に及ぼした影響について考えることができる。</p> <p style="text-align: right;">【 歴史 】</p>

# 令和6年度 社会 <3年> シラバス (年間学習計画)

## 1 学習の目標 (平成29年告示 学習指導要領より抜粋)

- 我が国の国土と歴史，現代の政治，経済，国際関係等に関して理解するとともに，調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べ，まとめる技能を身に付けるようにする。
- 社会的事象の意味や意義，特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり，社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力，思考・判断したことを説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。
- 社会的事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情，国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

## 2 学習の内容

学期	単元名	項目名	各項目の主な到達目標
			①：知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度
1	《歴史》 第5章 二度の世界大戦と日本	第1節 第1次世界大戦と民族独立の動き 第2節 高まるデモクラシーの意識 第3節 戦争に向かう世論 第4節 第二次世界大戦の惨禍	①第一次世界大戦の背景とその影響，民族運動の高まりと国際協調の動き，我が国の国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを基に，第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと，大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解することができる。 ①経済の世界的な混乱と社会問題の発生，昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き，中国などアジア諸国との関係，欧米諸国の動き，戦時下の国民の生活などを基に，軍部の台頭から戦争までの経過と，大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解することができる。 ②戦争に向かう時期の社会や生活の変化，世界の動きと我が国との関連などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現することができる。 ②近代後半の日本と世界を大観して，時代の特色を多面的・多角的に考察し，表現することができる。 ③近代後半の日本と世界について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとするすることができる。
	《歴史》 第6章 現在に続く日本と世界	第1節 敗戦から立ち直る日本 第2節 世界の多極化と日本の成長 第3節 これからの日本と世界	①冷戦，我が国の民主化と再建の過程，国際社会への復帰などを基に，第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解することができる。 ①高度経済成長，国際社会との関わり，冷戦の終結などを基に，我が国の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し，国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解することができる。 ②諸改革の展開と国際社会の変化，政治の展開と国民生活の変化などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現することができる。 ②現代の日本と世界を大観して，時代の特色を多面的・多角的に考察し，表現することができる。 ②これまでの学習を踏まえ，歴史と私たちとのつながり，現在と未来の日本や世界の在り方について，課題意識をもって多面的・多角的に考察，構想し，表現することができる。 ③現代の日本と世界について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとするすることができる。
	《公民》 第1章 現代社会と私たち	1節 現代社会の特色と私たち 2節 私たちの生活と文化 3節 現代社会の見方や考え方	①現代社会を捉える見方や考え方の基礎として，対立と合意，効率と公正などの見方や考え方があることを理解することができる。 ②位置や空間的な広がり，推移や変化に着目して，文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し，表現することができる。

			③私たちが生きる現代社会と文化の特色ついて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
	《公民》 第2章 個人の尊重と日本国憲法	1節 人権と日本国憲法 2節 人権と共生社会 3節 これからの人権保障	①個人の尊重の考え方や、社会生活における法の意義と憲法に基づく政治の重要性、日本国憲法の基本原理、天皇の地位と国事行為について理解することができる。 ②人権思想の展開と日本国憲法の成立について、歴史的分野の学習内容を踏まえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現することができる。 ③人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
	《公民》 第3章 現代の民主政治と社会	1節 現代の民主政治 2節 国の政治の仕組み 3節 地方自治と私たち	①国や地方公共団体の政治の仕組みについて、主権者の立場から理解することができる。 ②国や地方公共団体の政治に関する資料をさまざまな方法で収集・選択し、政治や社会の現状や課題についての的確に読み取り、それを表現することができる。 ③民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
2	《公民》 第4章 私たちの暮らしと経済	1節 消費生活と市場経済 2節 生産と労働 3節 市場経済の仕組みと金融 4節 財政と国民の福祉 5節 これからの経済と社会	①身近な事例を基に、消費や労働、生産と金融の仕組みや働きについて理解することができる。 ②対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察し、表現することができる。 ③国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
	《公民》 第5章 地球社会と私たち	1節 国際社会の仕組み 2節 さまざまな国際問題 3節 これからの地球社会と日本	①地球環境問題や貧困問題などの国際社会の諸課題や、その解決のためのさまざまな取り組み、日本の国際貢献について理解することができる。 ②国際社会の現状や諸課題に関するさまざまな資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択し、的確に読み取ることができる。 ③世界平和と人類の福祉の増大について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
	《公民》 終章 より良い社会を目指して	1 持続可能な社会の形成者として 2 持続可能な社会を実現するために 3 探究を続ける	③持続可能な社会を実現するために解決すべき社会の課題に関心を持ち、その解決策を意欲的に探究しようとしている。 ③世界平和と人類の福祉の増大について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。より良い社会を築くために自分に何ができるか考え、社会参画しようとする態度をもつことができる。
	学習のまとめ	・3分野の基礎事項 ・3分野が融合した問題	①地理・歴史・公民3分野の基礎事項を確認し、弱点を補強する。 ① 総合的な理解を深め、入試に備える。